

5歳から11歳のお子さんの 新型コロナワクチン接種について

お子さんの接種について、ご家族で話し合うときの参考に、接種のポイントをまとめました。

ワクチンの効果は？

- ワクチンを受けると、体の中で新型コロナと戦う仕組み（免疫）ができます。
- ウイルスが体に入ってきた時に、すぐに戦える準備ができるので、かかりにくく、かかっても症状が重くなるのを防ぐといわれています。

ワクチンの種類は？

- ファイザー社の5～11歳用のワクチンを使用します。
- 3週間以上あけて2回接種します。
- 接種は筋肉注射です。

事前に調べた方がよいことは？

- ワクチンについて疑問や不安があるときは、かかりつけ医にあらかじめご相談ください。
- お子さんに基礎疾患があるときや、アレルギー、熱性けいれんを起こしたことがあるとき、他の予防接種を受けるときも、ご相談ください。
- 副反応に備えて、親子とも、むりのない日程で予約をとりましょう。

当日注意することは？

- 5～11歳のお子さんの接種には、保護者の方の同意と立ち合いが必要です。
- 朝からお子さんの体調の観察を。予診票もよく確認して記入しましょう。
- 接種券、本人確認書類とあわせて母子健康手帳も忘れずに。
- 接種後は、激しい運動はできません。お風呂は入れます。接種したところを清潔にしましょう。

接種後の症状は？

- 接種直後から30分以内に、アナフィラキシーなどの症状があらわれることがあります。接種会場、かかりつけ医に御相談ください。
- 数日以内に出る症状は、接種した部分の痛み・赤み・はれ、疲れた感じ、頭痛、筋肉痛、悪寒、発熱などがあり、数日でよくなるといわれています。
- ごくまれに、心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。数日以内に胸の痛みやどうき、息切れ、むくみがある場合すぐに医療機関を受診してください。

▶最新情報は
厚生労働省HP



帰宅後、副反応で気になることがあるときは、接種会場・かかりつけ医のほか
都の副反応専用コールセンターで、看護師等が毎日・24時間対応します。

03-6258-5802